

令和5年7月27日（木）

第7回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和5年7月27日(木) 午後2時00分
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 丸 智彦 委員 蒲田 知子
委員 村松 弘康 委員 新山 訓代
委員 中村 通宏
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 山田和夫 生涯学習部長 菊地 統
生涯学習部次長兼生涯学習センター長兼公民館長兼生涯学習課長 小林 裕
総務課長 高橋 純 学校教育課長 中野直美
鳥の博物館長 森田康宏
文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎
指導課長兼小中一貫推進室長 森谷 朋子
少年センター長 川本将多 図書館長 穂村喜代子
学校教育課主幹 齊藤 優 生涯学習課主幹 齊藤 幸弘
指導課主幹 中山千草 教育相談センター係長 岡田恵理子
6. 欠席事務局職員 教育相談センター所長 遠藤美香

午後2時00分開会

○丸教育長 ただいまから令和5年第7回定例教育委員会を開会いたします。

会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名します。新山委員にお願いします。

議案第1号

○丸教育長 日程第2、議案の審査を行います。

議案第1号、我孫子市部活動地域移行検討委員会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○辻文化・スポーツ課長 議案第1号、我孫子市部活動地域移行検討委員会委員の委嘱について説明します。提案理由は、我孫子市部活動地域移行検討委員会設置要綱第3条の規定に基づき、我孫子市部活動地域移行検討委員会委員を委嘱するため、提案するものです。

候補者は10名、委嘱期間は令和5年8月1日から令和7年3月31日まで、委嘱年月日は令和5年8月1日です。この10名ですが、1番から4番がスポーツ関係団体を代表する者、5番が文化関係団体を代表する者、6番が中学校の学校長、7番が中学校に在籍する生徒の保護者代表、8番が学識経験者、9番が公募の市民、10番が特に必要と認める者です。今回御承認いただいた暁には、第1回の検討委員会を8月2日に実施する予定です。

○丸教育長 ありがとうございました。

それでは、これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

○村松委員 この我孫子市部活動地域移行検討委員会設置要綱の参考資料の第4条のところに「委員の任期は、2年とする。」とありますが、今回、委嘱期

間が令和5年8月1日から令和7年3月31日までで1年7か月ですが、これは3月末までにこの内容を取りまとめる方向で進めるため、この任期なのでしょうか。

○辻文化・スポーツ課長 部活動地域移行の件に関しては、国、県から令和7年度までに方向性を出すようにという話になっています。ただ、令和7年度以降についても、地域の実情に合わせて地域移行していくということになるため、一旦3月31日までの令和7年度で区切る予定ですが、それ以降に関しても、実情に合わせて、推移を見守りながら継続していく可能性があります。

○村松委員 ありがとうございます。私も中学生の部活動に対して、いつまでに決定するという事よりも、しっかり内容を決めて段階的にやっていっていただきたいので、あまり急いで内容を詰めることでもないかなと思います。今のお話のとおり、その後も状況を見て継続する可能性があるということで、焦らずに組み立てていただければありがたいと思います。

○丸教育長 ありがとうございます。ほかの委員さん、どうでしょうか。

○蒲田委員 委嘱期間のことは分かりました。部活動をしている中学生の保護者の方のお話を聞く機会があり、お話を伺うと、部活動の練習時間が短くなるとか、顧問の先生がお忙しいとなかなか指導してもらう時間がとれないなどの問題が起こらないかと心配していました。こういうことがあると地域移行についても、少しお月謝というか、指導についていくらかお支払いするような形になったとしても、子どもたちが気持ちよく練習できる環境を作ってもらえたほうがいいというような保護者の声もあります。まずは、保護者の方々の不安に寄り添いながら、丁寧な話し合いと共に、スピード感をもって進めていく必要があると思います。よろしくをお願いします。

○辻文化・スポーツ課長 ありがとうございます。この地域移行については文化・スポーツ課と指導課で協議をしながら進めています。1つは学校現場の理

解を得ながら、そして保護者、生徒の方々、それから何よりもこの地域移行に協力していただける市民の方々、この3者が同じ方向を向いて話を進めていくことが非常に重要かと思っておりますので、そこは丁寧に協議をしながら、かつスピード感を持ってやっていきたいと考えています。

○丸教育長 よろしいですか。

○蒲田委員 はい。

○丸教育長 学校の部活動、学校部活動の地域連携、それから休日の地域クラブ活動、3つあるのかなと思います。学校部活動に関しては、今、部活動指導員を入れることによって学校部活動の地域連携という形になっています。今後は学校部活動の地域連携で平日は持っていく、休日に関しては、休日の地域クラブ活動という形になるのが理想かなと思っています。それが全て整うかどうか、今後の検討委員会の中で議論していただきたい内容です。8月2日から進めるということで、よろしく願いいたします。よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

○丸教育長 これより採決いたします。

議案第1号、我孫子市部活動地域移行検討委員会委員の委嘱について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 挙手全員と認めます。よって議案第1号は可決されました。

諸 報 告

○丸教育長 日程第3、諸報告を議題といたします。

事前に配付された事務報告、事務進行予定資料等に補足する説明や追加する事項が4点ございますので、その説明から始めます。

まず1点目、「寄贈作品展～アビコレ～」について、辻文化・スポーツ課長、
お願いいたします。

○辻文化・スポーツ課長 例年、寄贈作品展等で実施しています事業ですが、
今回は「アビコレ」というネーミングをつけ、白樺文学館に寄贈された原田京
平の絵画資料や文化振興係に寄贈されました絵画作品、スポーツ振興担当に寄
贈されました東京オリンピックの聖火リレートーチなど、文化・スポーツ課が
所管する寄贈作品について市民に広く周知をするということで、8月18日か
ら23日まで市民プラザ・ギャラリーで展示いたします。よろしくお願いいた
します。

○丸教育長 御質問等がありましたらお願いします。

寄贈された方への周知はしているのですか。

○辻文化・スポーツ課長 連絡先が分かっている方に関しては、「このような
展示会を行いますので御覧ください」という形でお知らせをしようと思ってい
ます。

○丸教育長 ありがとうございます。よろしいですか。

それでは続きまして、夏期企画展「関東大震災100周年展示」について、
辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 企画展は、我孫子市杉村楚人冠記念館主催事業で、
本年、2023年が関東大震災100年に当たることから、杉村楚人冠が自宅
を移すきっかけになった関東大震災について、残されている資料等でお示しし
たいと考えています。また、8月11日に我孫子市民図書館との共催事業で、
「一安息の地・我孫子で生きる－関東大震災と楚人冠」という楚人冠講座を実
施する予定です。

○丸教育長 ありがとうございます。

御質問等があればお願いします。——よろしいですか。

それでは続きまして、第92回企画展「猛禽－タカ・フクロウ・ハヤブサ－」について、森田鳥の博物館長、お願いします。

○森田鳥の博物館長 その前に、先週のジャイアントモアのお披露目式ですが、教育委員の皆様のお出席、ありがとうございました。当日はかなり暑い中での開催となりましたが、無事に執り行うことができました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。第92回企画展「猛禽－タカ・フクロウ・ハヤブサ－」ということで、7月15日から11月5日までの期間で開催しています。タカ・フクロウ・ハヤブサに関しては、一般的に猛禽類と呼ばれていますが、分類上はそれぞれ独立して進化を遂げた別のグループということで、今回の展示では、獲物を捕らえることに特化した生態や体のつくりについて分かりやすく紹介し、大変興味深いものとなっていますので、教育委員の皆様にもこの機会にぜひ御来館いただきまして、見学いただければと思っています。

○丸教育長 ありがとうございました。御質問等があればお願いいたします。

○蒲田委員 私も3日目に行きましたら、猛禽は人気があるので来館の方が非常に多かったです。また、とても分かりやすい説明だなと思って見ることができました。狩りの様子も、ネズミを獲っている様子が何か所かありましたが、そんなに怖い感じではないため、お子さんも安心して見ることができたり、骨格標本があつたりするので、仕組が良く分かって、じっくりと見ている大人の方々も多くいた印象です。ありがとうございます。

○丸教育長 ありがとうございました。

ほかにございますか。――よろしいですか。

続きまして、「夏の遊びと研究大集合！2023」について、森田鳥の博物館長、お願いします。

○森田鳥の博物館長 こちらは夏休み期間中の土曜日・日曜日に、夏休みの自由研究のヒントになるような子ども向けのイベントを開催しています。このう

ち7月22日と23日については既に開催していますが、子ども達が多く集まり、大盛況でした。特に23日の「メダカでアクアリウム」は、生き物に関するものなので、子ども達の関心が高く、22日より23日のほうが盛り上がっていたようです。学芸員が工夫して子どもたちに興味を持たせるような形でいろいろと企画していますので、ぜひお子さんがいる方は御来場いただければと思っています。

○丸教育長 ありがとうございます。御質問等があればお願いいたします。

○蒲田委員 私は「メダカでアクアリウム」を見させていただきました。対象が小学生以上になっていますが、大人の方もいらっしゃっていました。また、アクアリウムを差し上げているのですが、学芸員さんの説明の中で、「本当に育てられないのであれば置いていってください」とお話をされていました。その結果、一組だけ作ったものを置いていかれました。本当に育てられると思えないときには置いていっていいですよということをきちんとアナウンスしていたこともよかったなと思いました。そして、子どもの参加費が無料で素晴らしいと思いました。

○丸教育長 ありがとうございます。ほかにございますか。

——よろしいですか。それでは、ないものと認めます。

ほかの事務報告についての質問があれば挙手をお願いします。

○蒲田委員 夏休みになりまして、民間の施設を使ったプール開放を始めたところだと思いますが、応募の状況等を教えてください。

○辻文化・スポーツ課長 プール開放ですが、セントラルスポーツクラブとミナトスポーツクラブの2か所で開始します。募集については、双方ともかなりいっぱいな予約状況です。特にセントラルスポーツに関しては、定員100名のうち、7～8割方は埋まっている状況です。ミナトスポーツについては、定員300名で多いのですが、事前予約の段階では200名を超えるような状況

で埋まってきているところです。昨日、7月26日にセントラルスポーツクラブのプール開放事業が行われ、1回目が9時～11時、2回目が11時～13時、3回目が13時～15時ということで、3回目の13時～15時の回を教育長、教育総務部長、生涯学習部長と私たちが保護者席から30分ほど視察させていただきました。視察をしたプールは、水深が110cmで8レーンあるのですが、中央の3レーンを25mが泳ぎ切れるような子どもたちが泳いでいる。数的にはそれほど多いわけではない状況で、奥側の3レーンはその水深でも泳げるような子どもたち、どちらかというが高学年の子どもたちが自由遊泳をしていました。手前側の2レーンについては、半分を仕切って、左側が水深はそのままフロートやビート板を使って遊んでいる子どもたち、右側は、プールフロアといって上げ底になるものがあるのですが、40cmのプールフロアを沈めて浅くしてあって、未就学児や低学年の子どもたち、それからその子どもたちと一緒に来た保護者の方々が遊んでいる状況です。時間的にも1時間で10分間の休憩を実施し、疲れすぎない程度で行っていました。

監視員は5名いて、うち1名は高いところから見ている状況、4名はフロアを随時歩いて凝視して、それぞれインカムを装着して、何かあったら飛び込めるといった状況で臨んでいました。1日実施して、少し興奮しすぎたのか鼻血を出した子どもが1名いたという報告を受けていますが、それ以外特にトラブルはありませんでした。保護者席にいた1名の保護者の方とお話しをする機会がありました。夏の暑さの厳しい環境を考えると、昨年までのような屋外の学校プールを使ったプール開放に非常に不安を覚えていたが、このような屋内で、場合によっては送迎がついた状況で実施してもらえたので、安心して子どもを送り出せて、とてもよい取組だと思いますと、その場で非常に高い評価をいただいたところです。ただ、今回始まったばかりなので、プール事業者と連絡を取り合って改善しながら、今後とも安心・安全に取り組めるような形で子ども

たちの水体験を進めていたいと考えています。

○丸教育長 よろしいですか。

○蒲田委員 はい。ありがとうございます。

○丸教育長 ほかの事務報告について質疑があればお願いいたします。

——よろしいですか。それでは、ないものと認めます。事務報告に対する質疑を打ち切ります。次に、事務進行予定について質疑があれば挙手をお願いします。

○蒲田委員 4ページにある「我孫子市小中学校音楽発表会」のプログラム編成をなさっていると書いてあるのですが、今年はコロナが5類に移行した中で実施するに当たって変わった取組、去年は、舞台のところで音出しをしていたと思いますが、今年はどんな形で進めるのか教えてください。

○森谷指導課長 昨年度は、コロナ対策で舞台の上で全て行えるように実施しましたが、今年は5類に移行したため、コロナ禍前のやり方で進めてみようかと今企画をしているところです。小ホールでリハーサルを行って、大ホールに来て本番を行うというような前の形に戻そうかと考えています。

○蒲田委員 ありがとうございます。去年もすごく工夫をしてくださったお陰で実施できたと思います。いい音楽発表会にしたいということで先生方も御苦労があるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

○丸教育長 ありがとうございます。ほかにございますか。

——よろしいですか。それでは、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。次に、教育事業全般について質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。